

ネイチャーアート

1 所要時間 約2～3時間（屋外で材料を集める時間は含まない）

2 服装 活動しやすい服装、上ぐつ

3 準備物

- ・ 利用者 新聞紙（1日分）、
材料（まつかさ、どんぐり、落ち葉など）、土台となるもの
※ 事前に計画を立て、必要なものを準備しておく。
（所内等を散策し、集めることもできる。）
- ・ 施設側 ネイチャーアート用道具セット（約40人分）
（ホットボンド、マジック、修正ペン、はさみなど）

4 活動場所 野外活動棟、研修棟

5 活動の流れ

分	係	内容	活動	引率・指導者	施設職員	その他
				参加者の誘導 事前説明	貸出し用具 の準備	
0	集合・説明	集合・説明（野外活動棟ホールA）		活動の運営 補足説明	諸注意 ※活動の流れの説明	
20～	◎用具貸し出し	班ごとに用具係（1名）が、用具の受け取り・確認		用具係の選出 用具・材料の確認 制作場所の指示	貸出し用具 の受け渡し	
30～	制作	(1) 机の上に新聞紙を広げ、用具を配る。 (2) 想像力豊かに作品を作っていく。		制作運営 活動終了時間の設定	制作補助 片付けの説明	
(約30分)	◎用具返却・片付け・そうじ	用具返却、清掃 職員の点検		返却用具の第1次点検 清掃指導 事後指導	返却用具の第2次点検・受け取り	モップや ほうきで 清掃

◎ 職員による利用団体へ用具の貸し出し、返却時の第2次点検を主として行う。(第1次点検は利用団体で行う。)

※ 利用団体の要望に応じて、施設職員から活動の大まかな作業工程について説明をすることができる。

6 その他の留意事項

(1) 事前に自分で材料を集めておいたり、オリエンテーリングやウォークラリー、野外体験学習等で材料を集めたりすると、より効果的で意欲がわくと思われる。施設内や周辺で材料を集めるのであれば、9月中旬から2月が適当である。ただし、時期によっては十分に材料が落ちているとは限らないので、事前に学校周辺で材料を集めておくといよい。

(2) ネイチャーアートの土台としては、枯れた松の皮、折れた太い枝、廃材などの木切れなどを用意するとよい。また、あけびのつる等を編んでリースを作り、土台とすることもできる。あけびのつるは、施設内でも集めることができるが、林の中に入って行く時にはマムシやハチなどに十分注意が必要である。

<施設内で拾えるもの>

- ・ まつかさ ・ ツバキの種殻 ・ ノグルミ ・ モミジバフウ ・ ユリのつぼみ
- ・ マテバシイなどのどんぐり ・ クリ ・ ナンキンハゼ ・ スギなど

<家庭で準備できるもの>

- ・ かぼちゃの種 ・ ピスタチオの殻 ・ クルミの殻 など

7 資料及び作品例

<昆虫の標本のような作品>



<枯れた枝で作った置物>



<あけびのつるで作ったリース>



<動物風の作品>

